

いわてで、わたしらしく

いわての農林水産業や建設業、
製造業などさまざまな分野で
今、女性が活躍しています。

母として、漁家として 漁村で海とともに生きる

水産業

宮古市 漁家（重茂漁業協同組合）

中村菜摘さん

神奈川県出身。結婚を機に宮古市重茂地区へ
移住。いわて水産アカデミー修了後、ウニ漁・
養殖業の手伝いに本格的に従事する。民泊施
設「海のみやこ」を運営し、地域の魅力発信や
交流人口の拡大にも取り組む。一児の母。

キラリPoint!



昆布の荷造り作業中は、一緒に働く漁
家の女性たちが子どもの世話をし
てくれるため、子どもを連れて仕事場
に行くことができる。

神奈川県出身で海に関する仕事がしたいと思っ
ていた私は、水産業の専門人材を育成する「水産
大学校」に進学。学生時代に会った夫の地元で
ある重茂の海に魅力を感じ、移住しました。

重茂は、ウニ、アワビ、ワカメ、コ
ンブなどが採れる漁業のまち。ワ
カメの収穫時期には家族総出で
メカブはずしや塩蔵作業を行
います。漁業というと男性

のイメージが根強いです
が、重茂では昔から、女
性も水産業に参画して
きました。性別や年齢
に関わらず協力して作
業する文化があり、私
も移住してすぐに地域に
受け入れてもらうことが
できました。

出産を機に、海に関わる

仕事ができなくなるかと思ったのです
が、その心配も不要でした。漁業とい
うと海の上での仕事ばかりがクローズアッ
プされますが、漁村では昔から、女性た
ちが水揚げ後の加工や出荷準備などの「陸
仕事」を担ってきました。そのため、コ
ンブ干しの作業の時には、漁師の親方や
漁家の女性たちに子どもをみてもらいな
がら、仕事をすることができます。また、
漁具を作るのも大事な仕事です。地元の
漁師からワカメの種を付ける漁具「コレ
クター」の作り方を教わり、子どもをあ
やしながらか作業しています。

2024年から民泊の運営も始めまし
た。重茂の海の幸の提供、学生の漁業体
験受け入れなどにチャレンジをしていま
す。これからも水産業や漁村の魅力など、
地域資源を生かした海業で重茂を盛り上
げていきたいと思っています。

いわて女性の活躍応援サイト

岩手の女性の就業や活躍を支援するWEBサイト。女性
のキャリア形成、働きやすい職場環境づ
くり役に役立つセミナーや、女性活躍認定
企業の取り組みを紹介しています。



女性漁業者の魅力を発信 「港女子 Port Girl」

女性漁業者が現場で活躍する姿を動画で発信し
ています。女性漁業者のリアルな日常や、仕事へ
の情熱、漁村での生活などを紹介しています。



はたらく
女性を
応援！